

平成30年9月13日

平成30年夏期における水難の概況

警察庁生活安全局地域課

1 概要

(1) 全国の発生状況

平成30年夏期(7～8月の2か月間をいう。以下同じ。)における水難は

○ 発生件数	502件	(前年対比 - 9件)
○ 水難者	595人	(前年対比 - 52人)
うち死者・行方不明者	242人	(前年対比 - 6人)

であった。

このうち、中学生以下の子供(以下「子供」という。)は

○ 発生件数 ^{*1}	81件	(前年対比 - 2件)
○ 水難者	117人	(前年対比 - 13人)
うち死者・行方不明者	14人	(前年対比 ±0人)

であった。

過去5年間の夏期における水難発生状況を見ると、平成28年を境に減少しており、今年も、夏期の水難として統計の残る昭和41年以降、発生件数・水難者数ともに最少であった平成26年に次いで少ない値となった。

^{*1}子供の水難発生件数は、水難者が子供の場合をいう。

(2) 都道府県別水難発生状況

水難発生件数を都道府県別にみると、最も多いのが千葉県で43件、次いで静岡県が36件であった。

2 特徴

(1) 年齢層別

水難者595人について、子供は、117人(19.7%)である。

(2) 場所別・行為別(全年齢層)

水難者595人について、発生した場所別にみると、多い順に

○ 海	401人(67.4%)
○ 河川	140人(23.5%)

であり、行為別にみると、多い順に

○ 水遊び	181人(30.4%)
○ 水泳	121人(20.3%)

である。

死者・行方不明者242人について、発生した場所別にみると、半数以上が

○ 海	146人(60.3%)
-----	-------------

であり、行為別にみると、多い順に、

○ 魚とり・釣り	57人(23.6%)
○ 水遊び	55人(22.7%)

である。

(3) 場所別・行為別(子供)

中学生以下の子供の死者・行方不明者14人について、発生場所別にみると、多い順に、

○ 河川 7人 (50.0%)

○ 海 4人 (28.6%)

であり、行為別にみると、多い順に

○ 水遊び 8人 (57.1%)

○ 水泳 4人 (28.6%)

である。

3 水難の防止対策

水難を未然に防ぐためには、以下のような点に留意する必要がある。

○ 危険箇所の把握

魚とり・釣りでは、転落等のおそれがある場所、水泳や水遊びでは、水（海）藻が繁茂している場所、水温の変化や水流の激しい場所、深みのある場所等の危険箇所を事前に把握して、近づかない。また、子供を危険箇所に近づけない。

○ 的確な状況判断

風雨、落雷などの天候不良時、河川の増水など水難のおそれが高いときには、釣りや水泳を行わない。また、体調が悪いとき、飲酒したときなどは、海、河川に入らない。

○ ライフジャケットの活用

釣りやボート等で水辺に行くときは、必ずライフジャケットを着用（体のサイズに合った物を選び、正しく着用）する。

○ 遊泳時の安全確保

- ・ 掲示板、標識等により危険区域と標示された区域内に入らない。
- ・ 遊泳区域を標示する標識、浮き等を移動し、又は損壊しない。
- ・ 遊泳区域以外の水域で遊泳しない。
- ・ 遊泳中、他人に抱きつくなどの遊泳上危険な行為をしない。
- ・ 遊泳に当たっては、水深、水流を考慮し、安全な方法で遊泳する。

○ 保護者等の付添い

子供の水難防止のため、子供一人では水遊び等をさせず、幼児や泳げない学童等には、必ずライフジャケットを着用させ、その者を保護する責任のある者が付き添うなどして、目を離さないようにする。

注：％は、小数点以下第2位を四捨五入。（表3～10においても同じ。そのため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合がある。）

表1 水難発生状況(過去5年)

(夏期)

	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
	総数	子供	総数	子供	総数	子供	総数	子供	総数	子供
発生件数(件)	475	111	577	119	614	98	511	83	502	81
水難者(人)	576	135	673	131	735	132	647	130	595	117
死者・行方不明者	239	28	267	29	304	19	248	14	242	14
死者	236	28	263	29	295	19	241	14	237	14
行方不明者	3		4		9		7		5	
負傷者	115	31	160	33	147	32	125	35	116	32
無事救出	222	76	246	69	284	81	274	81	237	71

注:「発生件数(件)」の、「子供」欄は水難者が子供のみであった件数を示す。

発生件数等の推移

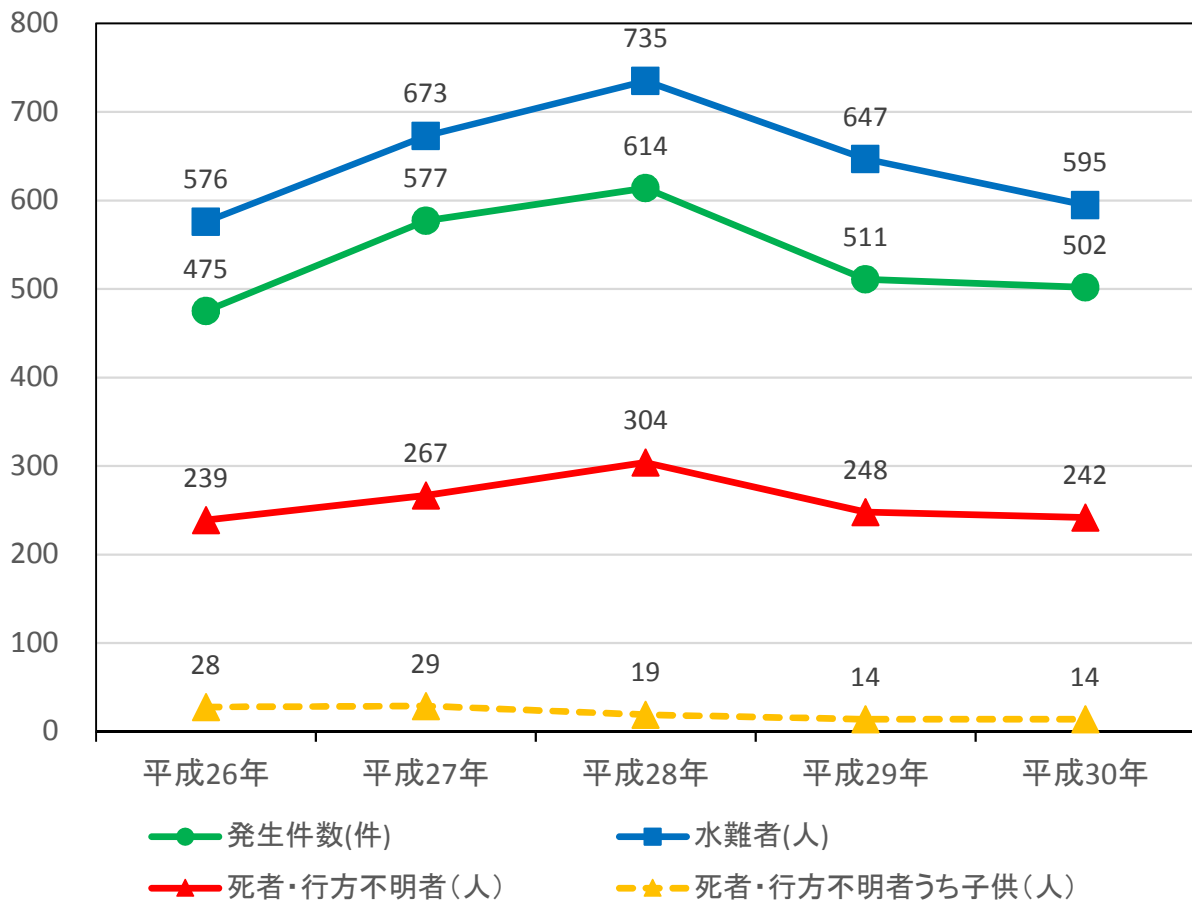


表2 都道府県別水難発生状況

(平成30年夏期)

	発生件数(件)		水難者総数(人)										
		うち子供	死者		行方不明者		負傷者		無事救出				
			うち子供	うち子供	うち子供	うち子供	うち子供	うち子供					
北海道	16		22	2	8		2		2		10	2	
東北	青森	5	1	7	3	2					5	3	
	岩手	6		6		5		1					
	宮城	11	1	13	1	7					6	1	
	秋田	3	1	4	2	2	1			1	1	1	
	山形	5		7	2	2				1	4	2	
	福島	10	3	10	3	6				2	2	2	1
東京	14	1	16	3	5				2	1	9	2	
関東	茨城	14	2	18	5	7				5	3	6	2
	栃木	2		2		2							
	群馬												
	埼玉	11		12		7				3		2	
	千葉	43	10	53	14	13	1			4		36	13
	神奈川	25	3	30	4	5				13	2	12	2
	新潟	24	6	28	9	10	2			1		17	7
	山梨	3	1	4	1	2	1					2	
	長野	4		5		2						3	
	静岡	36	2	45	3	22	1	1		10	1	12	1
中部	富山	11	1	12	1	7				2		3	1
	石川	10		13		4				2		7	
	福井	22	9	25	11	9	1			8	6	8	4
	岐阜	14	1	17	1	6				2		9	1
	愛知	18	2	23	3	9	2	1		7	1	6	
	三重	16	1	20	2	5				6	2	9	
近畿	滋賀	15	2	15	2	5	1			5	1	5	
	京都	3		3		3							
	大阪	3		3		3							
	兵庫	20	6	22	7	5				9	3	8	4
	奈良	5	1	5	1	2				1		2	1
	和歌山	13	3	13	3	7				4	1	2	2
中国	鳥取	4	1	5	1	1						4	1
	島根	11	3	14	5	5				4	2	5	3
	岡山	6	3	6	3	3	1					3	2
	広島	3	1	3	1					3	1		
	山口	7	1	8	1	5						3	1
四国	徳島	4		4		2				1		1	
	香川	9		13		5				4		4	
	愛媛	2	1	6	5							6	5
	高知	9	1	10	2	4				1	1	5	1
九州	福岡	14	2	21	5	9	2			2		10	3
	佐賀	1		1		1							
	長崎	11	2	11	2	8				2	1	1	1
	熊本	5	2	5	2	3	1			1		1	1
	大分	4		4		3						1	
	宮崎	2		2		1				1			
	鹿児島	13	4	13	4	6				2	1	5	3
	沖縄	15	3	16	3	9				5	3	2	
計	502	81	595	117	237	14	5	0	116	32	237	71	

表3 年齢層別 水難者数

(夏期)

	平成30年	
	人数	構成比
子供	117	19.7%
未就学児童	26	4.4%
小学生	75	12.6%
中学生	16	2.7%
高校生又はこれに相当する年齢の者	33	5.5%
高校卒業に相当する年齢以上65歳未満の者	321	53.9%
65歳以上の者	124	20.8%
不明		0.0%
合計(人)	595	

表4 場所別 水難者数

(夏期)

	平成30年	
	人数	構成比
海	401	67.4%
河川	140	23.5%
湖沼池	28	4.7%
用水路	15	2.5%
プール	9	1.5%
その他	2	0.3%
合計(人)	595	

表5 行為別 水難者数

(夏期)

	平成30年	
	人数	構成比
水泳	121	20.3%
水遊び	181	30.4%
魚とり・釣り	94	15.8%
作業中	19	3.2%
通行中	19	3.2%
その他	161	27.1%
陸上における遊戯・スポーツ中	2	0.3%
ボート遊び	35	5.9%
水難救助活動	29	4.9%
シュノーケリング	23	3.9%
スキューバダイビング	10	1.7%
サーフィン	17	2.9%
その他	17	2.9%
不明	28	4.7%
合計(人)	595	

表6 年齢層別 死者・行方不明者数

(夏期)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
子 供	28	29	19	14	14	5.8%
未就学児童	3	8	3	4	2	0.8%
小 学 生	15	11	10	7	8	3.3%
中 学 生	10	10	6	3	4	1.7%
高校生又はこれに相当する年齢の者	12	15	13	16	11	4.5%
高校卒業に相当する年齢以上65歳未満の者	118	133	148	113	126	52.1%
65歳以上の者	81	90	122	103	91	37.6%
不 明			2	2		0.0%
合計(人)	239	267	304	248	242	

死者・行方不明者の年齢層別構成比の推移

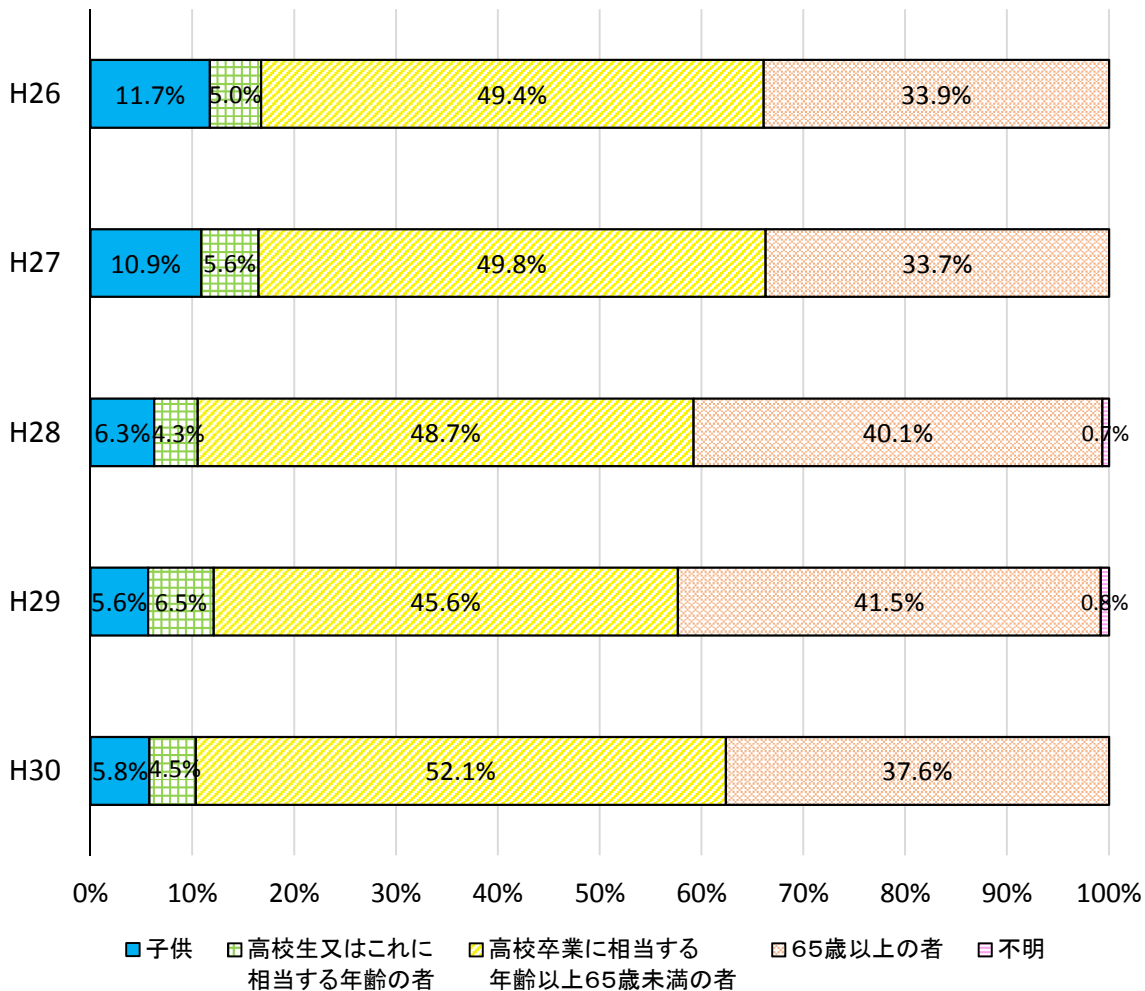


表7 場所別 死者・行方不明者数

(夏期)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
海	109	151	162	145	146	60.3%
河川	101	88	101	72	70	28.9%
湖沼池	6	10	16	11	13	5.4%
用水路	19	13	20	18	12	5.0%
プール	2	3	5	1		0.0%
その他	2	2		1	1	0.4%
合計	239	267	304	248	242	

死者・行方不明者の場所別構成比の推移

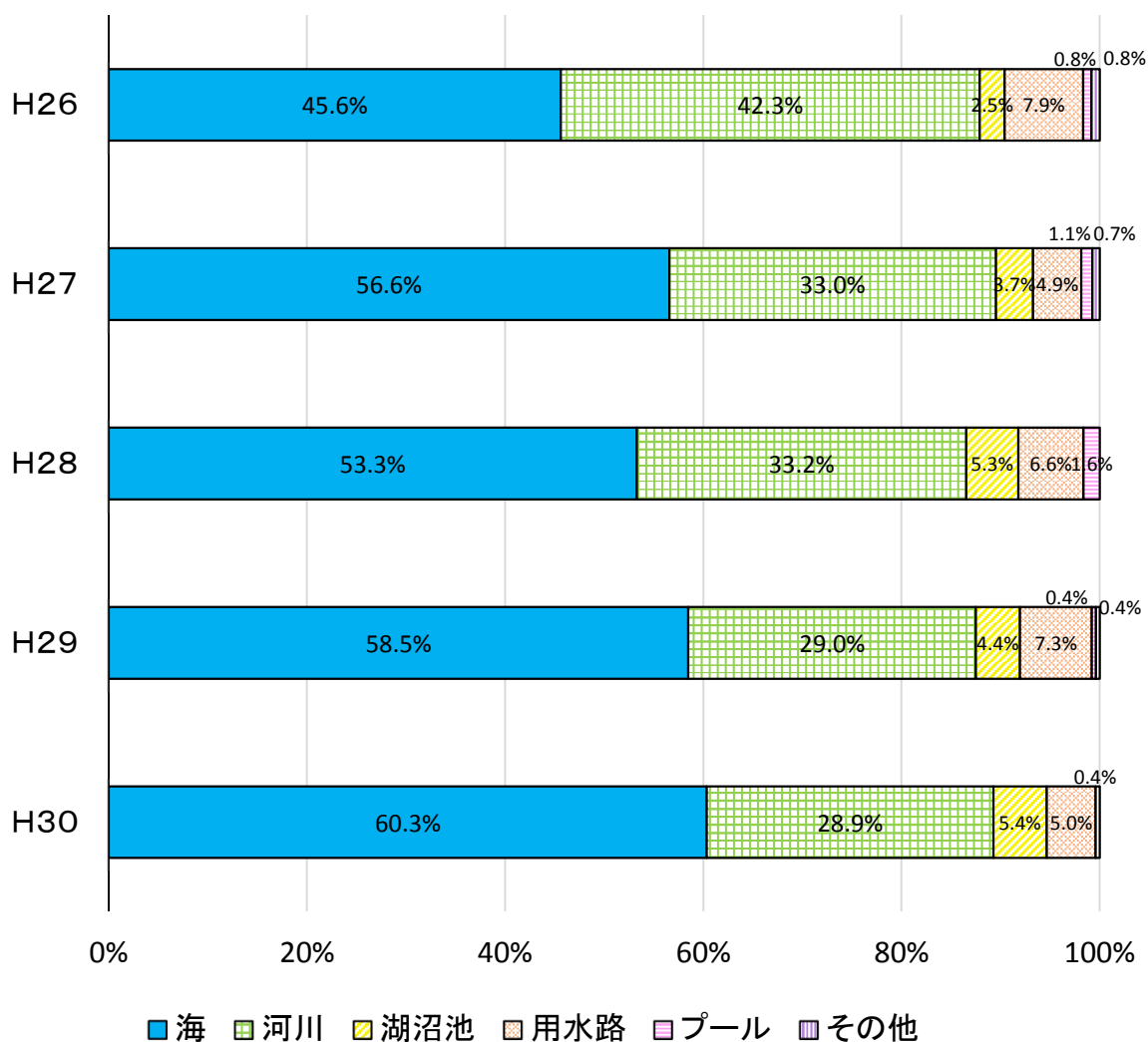


表8 場所別 死者・行方不明者数(子供)

(夏期)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
海	9	11	2	4	4	28.6%
河川	15	12	12	7	7	50.0%
湖沼池	1	2	3	1	2	14.3%
用水路	3	1		1	1	7.1%
プール		2	2	1		0.0%
その他		1				0.0%
合計	28	29	19	14	14	

死者・行方不明者(子供)の場所別構成比の推移

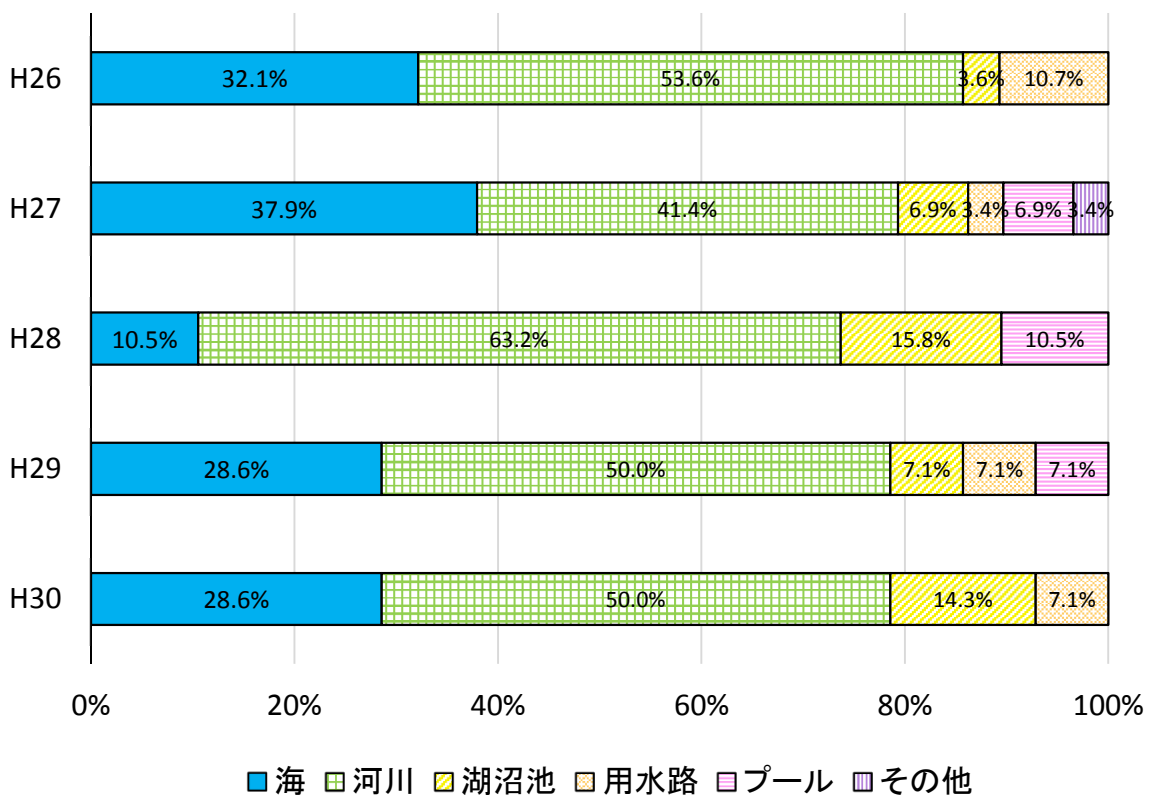


表9 行為別 死者・行方不明者数

(夏期)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年		
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比	
水泳	53	56	60	38	39	16.1%	
水遊び	53	44	49	45	55	22.7%	
魚とり・釣り	31	61	79	67	57	23.6%	
作業中	17	9	18	13	12	5.0%	
通行中	17	22	10	10	8	3.3%	
その他	68	75	88	75	71	29.3%	
陸上における遊戯・スポーツ中	2		1	1	1	0.4%	
ボート遊び	4	2	2	2	2	0.8%	
水難救助活動	5	2	8	8	10	4.1%	
シュノーケリング	57	24	12	10	14	5.8%	
スキューバダイビング			4	9	6	2.5%	
サーフィン			5	2	4	1.7%	
その他			42	7	10	6	2.5%
不明				49	33	28	11.6%
合計	239	267	304	248	242		

注1:平成27年から、「その他」から「シュノーケリング」、「サーフィン」、「スキューバダイビング」、「不明」を分離計上。

注2:「不明」は、従来「その他」に含まれていた原因不明の事故を示す。

死者・行方不明者の行為別構成比の推移

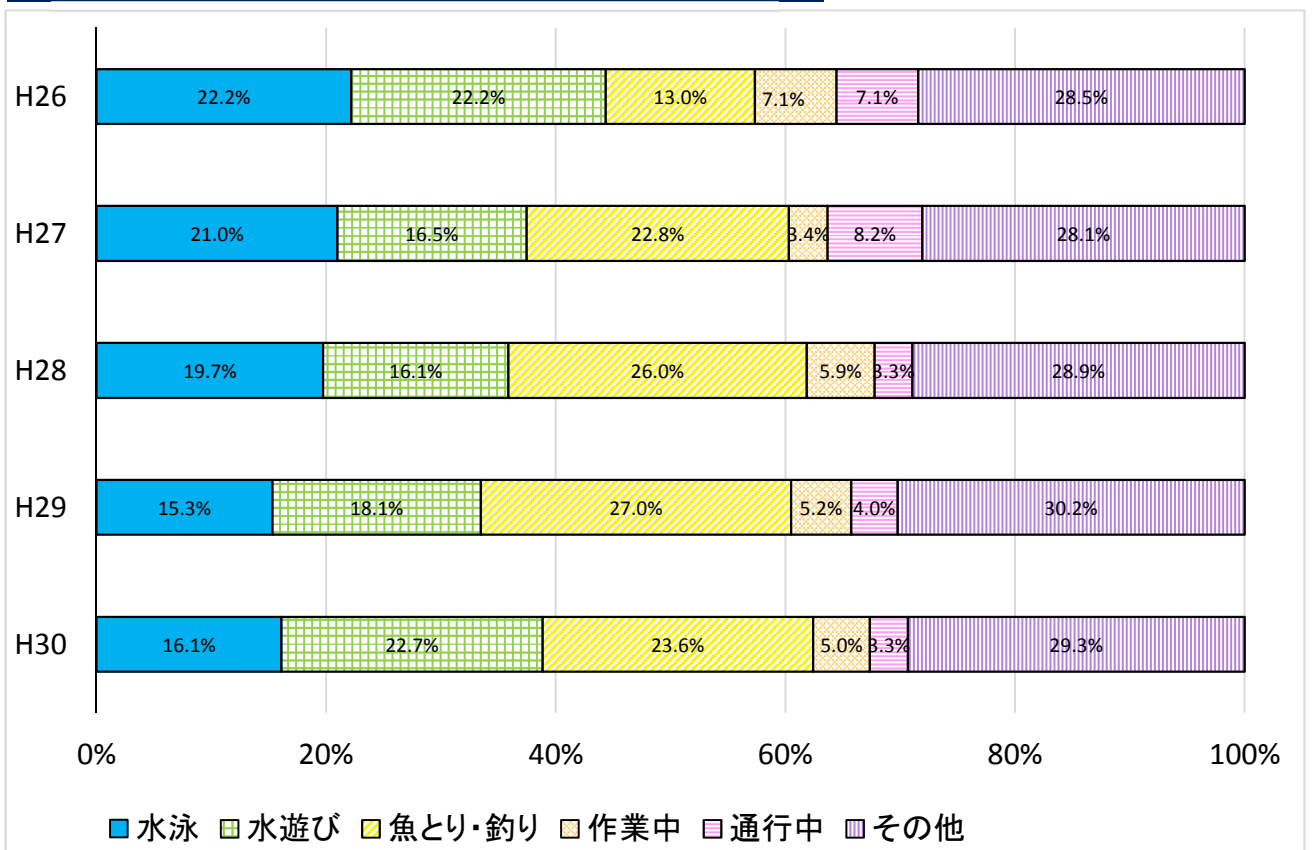


表10 行為別 死者・行方不明者数(子供)

(夏期)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
水泳	3	7	3		4	28.6%
水遊び	17	14	11	7	8	57.1%
魚とり・釣り	1		2	4		0.0%
作業中						0.0%
通行中	1	2	1			0.0%
その他	6	6	2	3	2	14.3%
陸上における遊戯・スポーツ中			1	1		0.0%
ボート遊び	1			1		0.0%
水難救助活動	1					0.0%
シュノーケリング	4	3				0.0%
スキューバダイビング						0.0%
サーフィン						0.0%
その他		3				0.0%
不明	1		1	2	14.3%	
合計	28	29	19	14	14	

注1:平成27年から、「その他」から「シュノーケリング」、「サーフィン」、「スキューバダイビング」、「不明」を分離計上。

注2:「不明」は、従来「その他」に含まれていた原因不明の事故を示す。

死者・行方不明者(子供)の行為別構成比の推移

